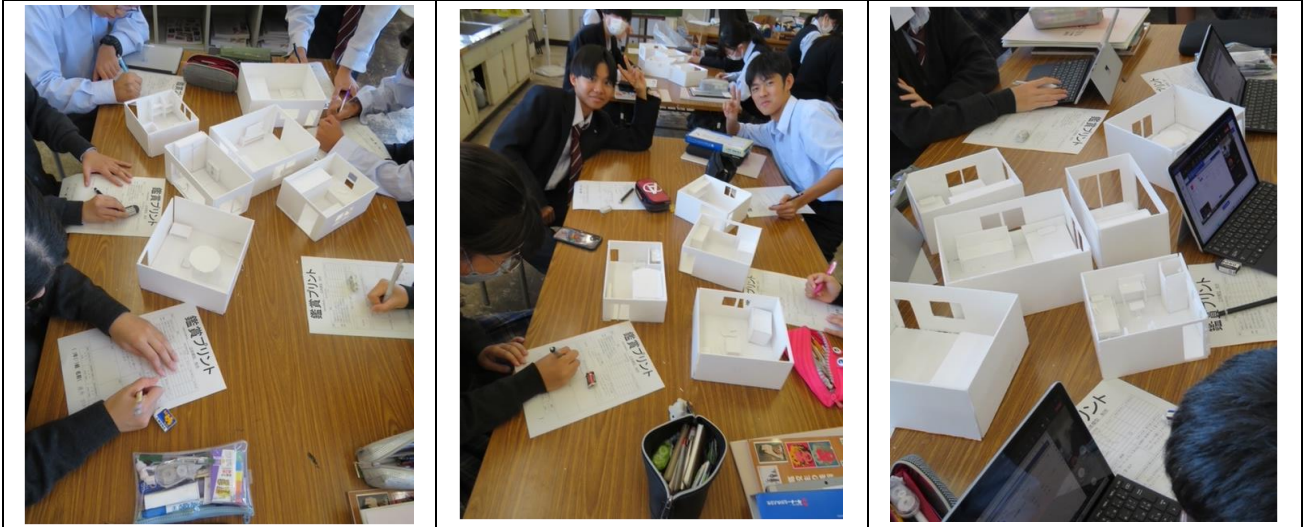


学校の様子（美術 I の授業から 立体模型の鑑賞・一人1 台端末の活用）

美術 I の授業では、一人1 台端末の良さを生かした授業を展開しています。ここで紹介いたします。

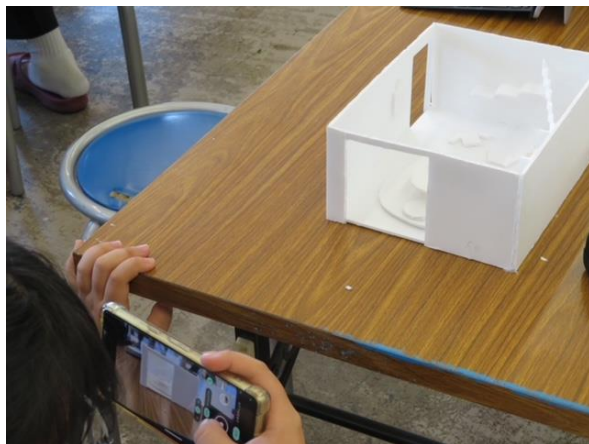
絵画分野の立体模型の学習として、自分の部屋やイメージする部屋を、スチレンボードを使用して作りました。今回は、各自が作成した模型を鑑賞する時間です。まずは自分の作品、そしてクラスメイトが作った作品を鑑賞します。

評価のポイントとして、高さがそろっているか、隙間がないかなどの基本的な造形の他に、家具やベランダ、窓など工夫した点などを書き込みます。また、クラスメイトの作品についても同じ視点で鑑賞します。特に、自分と異なる表現手法等から学んだ点や、自分の表現でよかった点なども書いていきます。



中には、クローゼットのパイプを表現する生徒、ハンガーを表現する生徒、本棚にある本を表現する生徒もあり、あちこちでたたえあっていました。

ここで一人1 台端末が登場します。班の中で、代表となる作品を選びクラス全体で鑑賞します。しかし、作品が小さいため、全体での鑑賞には不向きです。そこで、班ごとに生徒のスマートフォンなどを活用し、30秒の動画を撮影します。窓やドアから見える部屋の中の様子など、模型の中の人の目線で表現します。それを Teams のチームに保存し、会議の機能を使用して、クラス全員で鑑賞します。



動画を撮影する生徒



撮影した動画

動画を撮影した生徒は、いかに良さを表現できるか考えてカメラを回し、満足いく30秒動画が作れてとても良い顔をしていました。また、鑑賞した生徒たちも、その世界にいるようなアングルでの表現に、声を上げて、友人の作品をたたえあっていました。